

# どんぼの森公園



どんぼの森公園全景写真



大野城市建設部都市計画課

# はじめに

どんぼの森公園は、もとからあった自然を生かし、野生生物の生態などを観察できるような学びの場所として、ビオトープや樹名板などを整備した学習公園であると同時に、子供からお年寄りまで鳥のさえずりや虫のなきごえなどを楽しめるいこいの公園にもなっています。

さらに、本公園のビオトープは、昔ならどこでもみることができた「小川のせせらぎ」を再現し、公園の名称にもなっている「どんぼ」や「めだか」、「ほたる」などが生息できる環境づくりを目指しております。



## どんぼの森公園ができるまで！

平成 13 年 5 月	大池区より「新池」を公園化する要望を提出
平成 15 年 6 月	地元有志により「どんぼ池をきれいにする会」設立
平成 15 年 9 月	大野城市役所の「公園再整備のすすめ事業」に応募
平成 16 年 7 月	公園再整備が決定
平成 16 年 8 月	基本設計(アイデアワークショップ)の開始(平成 17 年 3 月完成)
平成 17 年 7 月	実施設計(デザインワークショップ)の開始(平成 18 年 3 月完成)
平成 18 年 8 月	公園工事の開始
平成 19 年 5 月	工事完成(開園)

## Q & A

### 「新池（しんいけ）」とは？



もともと「どんぼの森公園」は、農業用のため池として利用されていました。そのころは今 の「どんぼの森公園」を「新池」と呼んでいたそうです。

### 「公園再整備のすすめ事業」とは？

古くなって利用者が少なくなった公園を、地域のみなさんといっしょにアイデアを出しあって公園をよみがえらせようとする取り組みのことです。

### 「基本設計」（アイデアワークショップ）とは？

基本設計とは、公園をどのようにつくるか地域のみなさんとゲームなどをしながら、アイデアを出し合って公園整備のすすめ方を決めます。

### 「実施設計」（デザインワークショップ）とは？

実施設計とは、基本設計で決まった内容をくわしい図面などをつくり、公園をつくるためのもとになるものです。



# 公園の特色



## ① 地域の声でできた公園



ワークショップの様子



整備前の様子

ワークショップとは、共同で作業することをあらわす言葉です。

この場合のワークショップの意味は、公園をつくる市役所と公園を利用する地域住民とが、共同で公園をどのように整備するか、それぞれがアイデアを出しあって、お互いに協力しながら公園をつくっていくことを意味します。



## ② 大野城市初のビオトープ



ビオトープゾーン

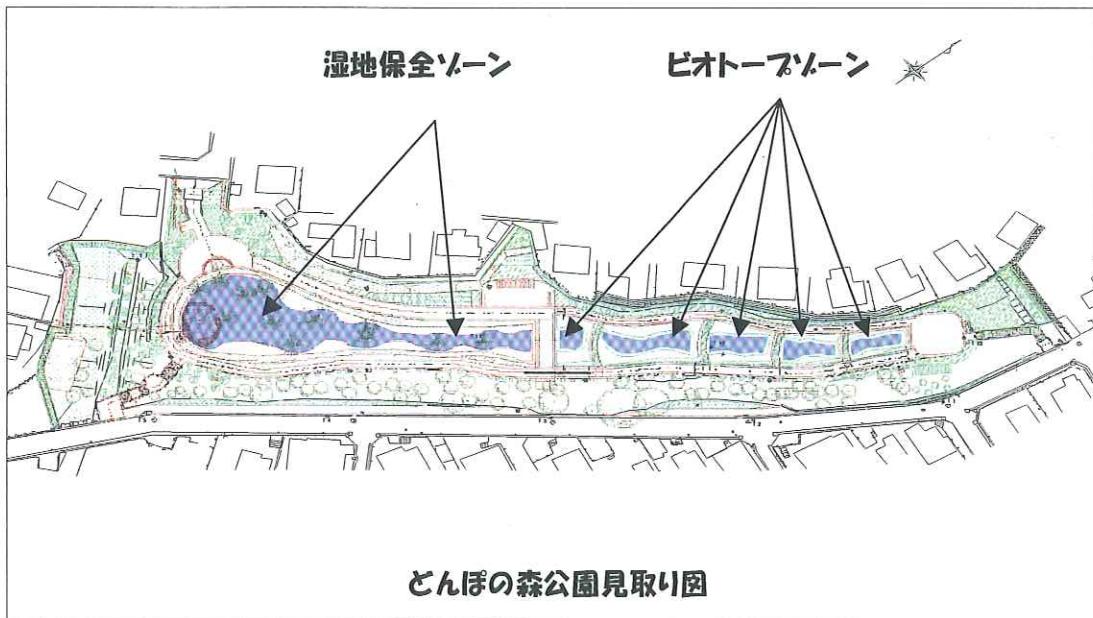


湿地保全ゾーン

ビオトープとは、*bio*(生命)+*topos*(場所)を合成したドイツ語です。ドイツの生物学者ヘッケルが「生きもののすむ空間」をビオトープと呼んだのが始まりとされています。

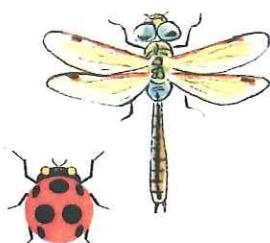
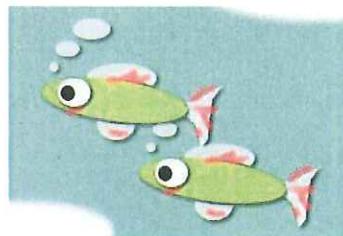
どんぼの森公園には、湿地保存ゾーンとビオトープゾーンをもうけています。

湿地保存ゾーンは、もとからある湿地帯を残し、貴重な自然であるヤナギやクスなどの高木を残したゾーンになっております。また、ビオトープゾーンは失われた自然をとりもどすために、昔の日本で多くみられた小川のせせらぎを再現し、メダカやホタルが生息できるような環境をつくるようにしています。



### ビオトープの考え方

- ① 今残っている自然の保全  
[湿地保全ゾーン]
- ② 失われた自然の再生  
[ビオトープゾーン]



- ③ よりよい状態を保つ  
[どんぼの森公園を育てる会]  
[地元住民や公園利用者]  
[大野城市役所]



\* 「どんぼの森公園を育てる会」とは、この公園整備の発起人である「どんぼ池をきれいにする会」の名称が変更になったものです。

### ③ 高原基金の森からの支援



「どんぼの森公園」竣工式

「どんぼの森公園」は、「高原基金の森」の援助をいただいて整備しました。

「高原基金の森」とは、高原慶一朗氏(ユニ・チャーム株式会社創業者)の寄付のもとに、財団法人都市緑化基金が、全国から特色ある森づくりプランを募集し、選考委員会で選定された公園に援助を与えるものです。

「高原基金の森」は、地域のもつ個性、優位性、潜在能力を「いましか」「ここしか」「これしか」であらわされる特色のある森づくりを目指しています。この森が全国に広かり、21世紀に生きる人と社会が、健全さと豊かさを得られることを願っています。

## 公園の概要

「どんぼの森公園」は、約 8,000 m<sup>2</sup>の広さを有する街区公園です。

公園内には駐車場はありませんが、もよりのバス停にコミュニティバス「まどか号」の「大池2丁目どんぼの森公園入り口」があり、遠方からの来園にはバスが便利です。

また、近くの県道 514 号線「水城・下臼井線」の交差点には、「どんぼの森公園入り口」の標識がたっており、公園への入り口が分からぬ場合は、この標識を目印にすることもできます。

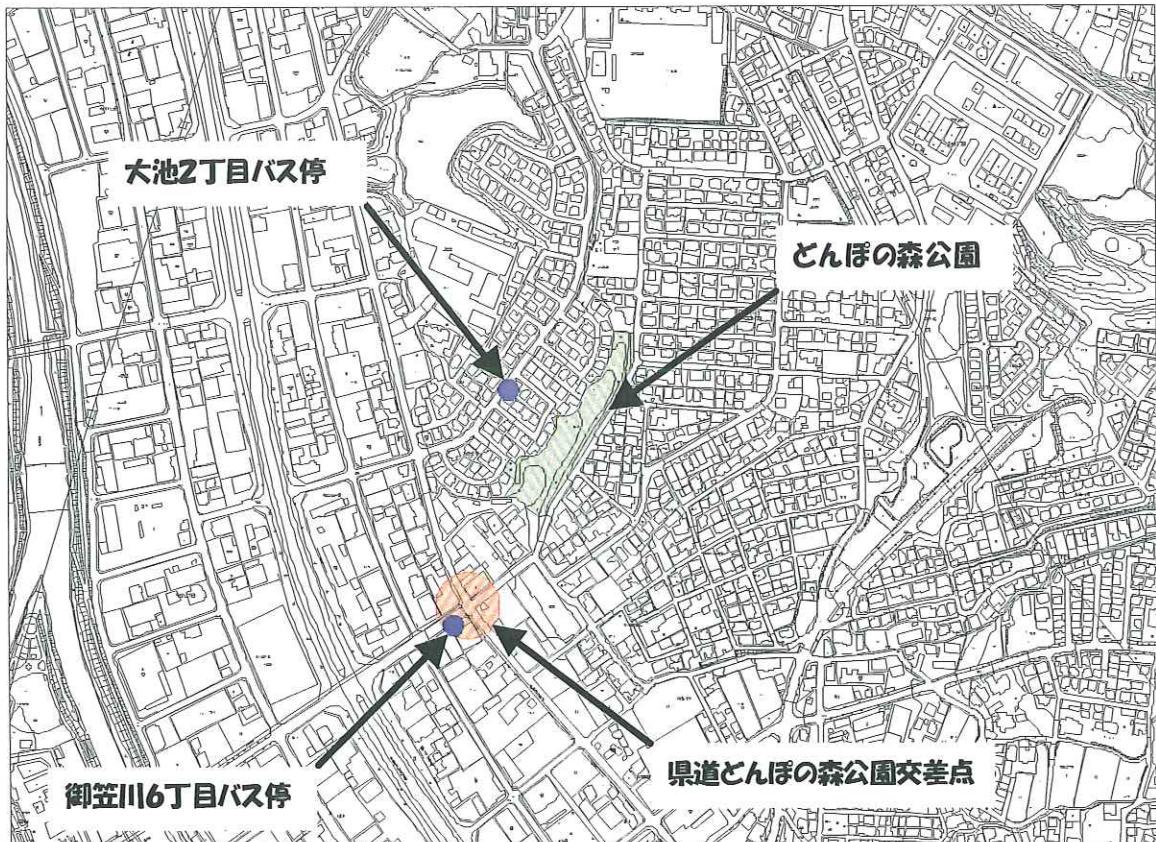




「大池2丁目バス停(とんぼの森公園入口)」



「とんぼの森公園入口交差点」



付近見取り図

※ バスで来園される場合は、乙金ルートで「大池2丁目とんぼの森公園入り口」バス停で降りてください。ただし、乙金ルート、東部ルートの「御笠川6丁目」からでも徒歩で公園に行くことができます。(両バス停とも公園までは徒歩1~2分です)



# 公園での遊び方



子供たちでメダカを放流



質問形式の樹名板

ビオトープには、いろんな動物をいれてもいいの？

ビオトープは生きものを飼うのが目的ではなく、自然のすがたで生きものの生態を観察するのが目的なので、むやみにいろんな動物（特に外来種）をいれると生態系がこわれるおそれがあります。もし、生きものをいれるのを希望されるときは、大野城市役所公園担当まで相談してください。

ビオトープの中で遊んでもいいの？

ビオトープは生きものの生態系をこわさないのが目的なので、むやみに池の中にはいったい、メダカなどを採ったりしないで下さい。池の中では遊ばずにメダカの成長やいろんな動植物を観察して記録しましょう。

いろんな木があるけど何の木なの？

木の種類を図鑑などで調べるのも楽しいかも？でも、すぐに木の種類を知りたい人は、樹名板があるのであけてみて下さい。いろんな木の名前や特徴が書いてあります。

ビオトープは家でもできるの？

ビオトープは、池がなくてもできます。そもそも池や川がないところでも生物は生息しているのだから、家の庭やベランダでも自然の状態がつくれれば、家でもビオトープはつくれます。ただし、水槽に金魚を飼ったり、カブトムシを飼ったりするのは自然とは言えないのでビオトープにはなりません。



# 大野城市の木と花

大野城市には、市の木と花を決めていきます。この公園にも市の木と花を植えていますので、どれが市の木でどれが市の花か探してみよう。



## 大野城市的木(クロガネモチ)

クロガネモチは、モチ/キ科の木です。

暖かい地に生える常緑(いつも葉っぱがある)高木です。樹皮は緑がかかった灰白色でなめらかである。葉はなめし革質で表面は濃い緑でつやがあり、裏面は淡い緑色をしています。

5月から6月にかけて葉の付け根に薄い紫色の花をつけます。



## 大野城市的花(キキョウ)

キキョウは、キキョウ科の花です。

日当たりのよい山地や野原などに生える多年草で高さは50から100センチ位に成長します。

花がきれいなため、昔からよく栽培されており、八重咲きや白花など園芸種も多くあります。

根は太くて黄白色をしており、葉は長卵形で互生します。

秋の七草でいうあさがおはキキョウのことだと言われています。



問い合わせ先：大野城市建設部都市計画課公園緑化担当

住所：大野城市曙町2丁目2番1号

電話：092-501-2211（代表）